

調布市災害廃棄物処理計画(案)に対するパブリック・コメントの実施結果

【パブリック・コメント手続の実施概要】

1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和6年1月22日(月)～令和6年2月22日(木)
- (2) 周知方法 令和6年1月20日号市報及び市ホームページ
- (3) 資料の閲覧場所 調布市クリーンセンター管理棟2階ごみ対策課, 公文書資料室, 各図書館・各公民館・各地域福祉センター, みんなの広場(たづくり11階), 市民活動支援センター(市民プラザあくろす2階)
- (4) 意見の提出方法 氏名, 住所, 御意見を記入し, 直接又は郵送, FAX, Eメールで調布市クリーンセンターごみ対策課まで提出
※資料の閲覧場所に設置する意見提出箱への提出も可

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数: 27件(3人)

<提出意見の内訳>

全般に対する意見	2件
第1章「総則」に対する意見	1件
第2章「平常時(発災前)の対応」に対する意見	7件
第3章「災害廃棄物対策(地震編)」に対する意見	17件
第4章「災害廃棄物対策(水害編)」に対する意見	0件

- (2) 意見の概要と意見に対する市の考え方 別紙のとおり

【意見の概要と意見に対する市の考え方】

全般

項目	No	御意見の概要	市の考え方	意見の反映
全般	1	災害発生時には、多くのゴミが出ますが、引火しやすいものや、引火しやすい気体を発する物体もありうることから、災害ごみの集積所等一帯は、二次災害を防ぐため敷地内禁煙としてください。	市の公共施設は、禁煙となっており、ごみの集積所や仮置き場も、公共施設として設置することから、同様の対応となります。	
全般	2	災害発生時に避難所となる施設は学校等が多いため禁煙ですが、廃棄物としての吸い殻を処理しやすくすることを口実として灰皿などは決して設置しないようにお願いします。灰皿があれば禁煙の場所でも喫煙者は喫煙してしまいます。避難所での喫煙は、受動喫煙や三次喫煙により、喫煙場所から避難所が多少離れていてもぜんそくや心疾患を抱える市民に重大な悪影響をもたらします。	市の公共施設は、禁煙となっており、ごみの集積所や仮置き場も、公共施設として設置することから、同様の対応となります。	

第1章 総則

案	No	御意見等の概要	市の考え方	案への反映
9ページ「市民の役割」	3	廃棄物の排出の際の分別の徹底に関して⇒個人人の判断には個人差があり、特に避難時、緊急時ではより分別の判断が困難になるので身近な地域ごとの相談窓口が必要ではないか。既存の地域パトロール、消防団等の協力を得、ボランティアも募集するなど	災害時の廃棄物処理が、迅速かつ適切に実行できるよう、平時からごみの分別排出の周知徹底を図るとともに、発災時の市からの情報発信や市民の情報の取得・収集方法を検討する中で参考とさせていただきます。	

第2章 平常時(発災前)の対応

案	No	御意見等の概要	市の考え方	案への反映
12ページ「災害対策本部」	4	11の部と局が設置予定となっているが、これは管理側の分けであり、災害時、市民側としては有事ごとにどこ部、どこの局に相談してよいのかわからないと思う。よって相談を11一本化した相談窓口を設けそこから11部署に割り振ることが機能的だと思う。	いただいたご意見を踏まえ、関連部署と連携し、発災時における市からの情報発信や市民の情報の取得・収集方法を検討する中で参考とさせていただきます。	
14ページ(3)建設業協同組合との連携	5	表2-4 分別ルール →ルール化にはクリーンセンターの実績からくるノウハウを生かして作成するのが良いと思う。	災害時の廃棄物処理を迅速かつ適切に実行できるよう、これまでのごみ減量、資源化の取組を踏まえ、現状の分別区分を基本とし、平時からごみの分別排出の周知徹底を図ってまいります。	
15ページ「ボランティアとの連携」	6	支給品には「高品質な消臭マスク」、「防釘の中敷き」を加えてほしい。※東北震災ボランティアの経験上	貴重なご意見として、防災備蓄品の検討の中で参考にさせていただきます。	
15ページ(4)ボランティアとの連携	7	この項は、関係機関との連携について述べてるが、ボランティアは個人であり機関ではない。機関としては、調布市社会福祉協議会ではないのか。	ご指摘事項を踏まえまして、計画本文の一部について「調布市社会福祉協議会等との連携を進める。」と修正しました。項目名は分かりやすさを重視し、「ボランティアとの連携」といたします。	○
17ページ(1)「平常時の取組み」	8	し尿収集車による収集を必要としない災害用トイレの確保→バイオトイレの設置を強く要望する。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。	
20ページ(5)「レイアウトのイメージ」	9	集積所の各コーナーには担当者を配置する。	一次仮置場については、比較的面積の大きい土地を利用することを想定しているため、可能な限り各品目ごとに担当者を配置します。集積所は小規模な土地を想定しているため、参集職員やボランティアの方々の人数により、調整します。	
23ページ 10訓練	10	「訓練」ではなく、「職員への教育・訓練」または「教育・訓練」とすることはできないか。発災時、市民がもっとも頼りにするのは市役所職員であることを意識し、応えることができるような職員の育成に期待する。毎年度定期的に災害廃棄物を担当する職員への研修を実施したり、スペシャリストの育成についても加筆していただきたい。関係機関との合同訓練を定期的に行うことを加える。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「研修・訓練」と修正しました。	○

第3章 災害廃棄物対策(地震編)

案	No	御意見等の概要	市の考え方	案への反映
---	----	---------	-------	-------

27ページ「分別区分と処理フロー」	11	「埋め立て処分ゼロ」が不可能な場合の別の処理案も用意しておく。	災害廃棄物は可能な限り再資源化、セメント化を目指します。発生量と処理量の関係から、やむを得ず仮埋め立てを実施した場合も、掘り起し全量エコセメント化することを原則としています。
28ページ「避難所ごみの処理対策」	12	バイオトイレの設置検討を追加。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
29ページ「処理フロー」	13	北多摩1号が満タンの場合の第2候補を考慮しておく必要はないか。	調布市のし尿等下水道投入施設及び北多摩一号水再生センターにて対応可能と考えておりますが、被害状況に応じて、東京都を通じ、東京都・近隣自治体との災害協定に基づき、広域処理を実施してまいります。
29ページ〈留意事項〉	14	石綿含有廃棄物→ 実施者、ボランティアに高性能マスクを支給	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。なお、石綿含有廃棄物については、「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」等に基づき、適切な装備・手順で対応いたします。
33ページ「情報収集・情報共有」	15	混乱を来たさない範囲で市民への正確な情報の提供をすることで、デマ情報対策とする。	いただいたご意見を踏まえ、関連部署と連携し、発災時における市からの情報発信や市民の情報の取得・収集方法を検討する中で参考とさせていただきます。
34ページ「事業者との協定」	16	災害時であるので吉野、調布清掃の2社頼りで大丈夫か。もう1社予備選定しておいては。	災害の種別、災害規模、被災状況などを踏まえた、具体的な収集運搬体制の検討の中で参考とさせていただきます。
34ページ「記録」	17	記録は後のとって貴重な財産。記録担当者のリスト化と事前練習の実施が必要。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
35ページ「情報収集」	18	市民への共有も含めてほしい。	市民の方への情報提供については、P.43「市民・ボランティアへの広報」にて記載しておりますが、いただいたご意見を踏まえ、関連部署と連携し、発災時における市からの情報発信や市民の情報の取得・収集方法を検討する中で参考とさせていただきます。
36ページ「避難所の開設状況と確認」	19	今後のために記録をする。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
37ページ「意図していない場所へのゴミ収集, , , ,」	20	正しい場所の案内図を看板として設置。	集積所や仮置場については、災害の種別、規模、被災状況により、その都度適切な置場を選定し、HP等で公表する予定です。

38ページ「市民・ボランティアへの周知」	21	デマ情報拡散防止のため、道路・避難情報等の最新情報を共有する。	いただいたご意見を踏まえ、関連部署と連携し、発災時における市からの情報発信や市民の情報の取得・収集方法を検討する中で参考とさせていただきます。
39ページ「事業系ごみの対策」	22	どの種をどれだけ排出したかごみ排出実施リストを提出してもらおう。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
40ページ「し尿収集・運搬」	23	バイオトイレの設置を検討してほしい。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
43ページ「市民・ボランティアへの広報」	24	スマホ、デジタル情報だけで済ませず、デジタル難民である高齢者、障がい者に向けて掲示板、ポスター、チラシでの告知を実施してほしい。	災害廃棄物処理を迅速かつ円滑に処理するためには、市民の協力が欠かせないことから、平時からの備えとして、本計画に基づく災害時の廃棄物処理に関するリーフレットを作成し、全戸配布する予定です。
44ページ後段	25	また、災害廃棄物処理においてボランティアに協力を・・・以下5行は12 ボランティアとの連携の内容を整理し、この部分に入れる方がわかりやすいのではないかと。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
44ページ「有害廃棄物の部分」	26	これだけはまもってほしい危険なもの、として絵でわかるチラシ等が必要かと思う→チラシなら近所に拡散してもらえる。	災害廃棄物処理を迅速かつ円滑に処理するためには、市民の協力が欠かせないことから、平時からの備えとして、本計画に基づく災害時の廃棄物処理に関するリーフレットを作成し、全戸配布する予定です。
56ページ「思い出の品」	27	デジタルデータの破壊が多発すると考えられる。データ復旧には時間と高額金がかかるため、データ復旧会社と事前に協力体制をとっておくことが必要では。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。

※御意見は、原則、いただいた原文を基に掲載しています。